

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【森講師に対する質問】

質問内容	回答
<p>設楽ダム建設にあたっての財政面を視点を述べられたと思いますが、大変分かりやすかったです。</p> <p>ただ、歳出が嵩むが県の財政規模は現状では賅えるという結論だと認識しましたが、ダム建設の利点（効果額）は数字では表せないのでしょうか？</p>	<p>ダム建設の県内生産への誘発効果等は、産業連関表を使って試算することはできると思いますが、今回の講演ではダム建設関連投資が愛知県財政に及ぼす影響に焦点を絞りましたので、ダム建設の経済効果の試算は行いませんでした。</p>
<p>地方財政についてのお話を伺いましたが、前提として、「設楽ダム事業が公共事業として意味がある」とされています。もし、この事業が意味がないという前提ではどうなるのか、ご説明をいただきたいと思います。また、ダム事業がもたらす環境負荷について、将来世代にとってマイナスの効果をもたらす場合のご説明もよろしく。</p>	<p>今回の講演では「設楽ダム事業が公共事業として意味がある」ことを前提としていた訳ではなく、たとえ意味があるとしても、ダム建設によって県の財政が窮迫したり、これまでの地域間財政再分配の構造を大きく変えてしまうならば、財政的に実行可能でないし、県民に受入れてもらえないであろうから、それらの点を検討したということです。</p> <p>検討の結果、県財政の窮迫や再分配構造の大転換は起らないことがわかりましたが、このことがダム建設の有効性を示している訳ではありません。</p>
<p>ダム建設投資の負担を将来へ残すということ。ダムが将来的にメリットとなるので負担を残すことは可ということ。</p> <p>果たして、将来的にメリットがあると断言できるのでしょうか。もし、ダムによってデメリットが勝った場合（自然破壊、地盤が悪いために引き起こされる修繕費など）、負担を支払うことになる子供たちにはどう説明できるのでしょうか。</p>	<p>今回の講演では、ダム建設にメリットがあるか否かを検討した訳ではありません。</p> <p>ただ、メリットがあるとすれば、そのメリットは将来にも及ぶであろうから、ダム建設関連投資の財源を、将来の住民にも負担を求める県債の発行に求めることは、利用時支払の原則から、むしろ望ましいと主張したまでです。</p>
<p>経常経費充当一般財源と経常一般財源との違い。</p>	<p>経常一般財源は、地方税等、毎年得られると期待できる使途の定めのない財源（収入）であり、経常経費充当一般財源は、毎年、経常一般財源を投入して賅わなければならない経費（支出；人件費、公債費、補助費等々）を意味しています。</p>
<p>設楽ダム建設の経常収支比率シミュレーションの場合の建設地方債は、分母の臨財債に入っていないで分子に入っているのか。</p> <p>この場合も償還はもっと長期間と思ったが…。</p>	<p>建設事業費を臨財債収入で賅うことは考えられないので、ダム建設関連投資の実施は、経常収支比率の計算式の分母の臨財債には影響を与えません。</p> <p>ダム建設関連投資が経常収支比率に影響を与えるルートは、投資資金が建設地方債で賅われた場合に、その元利償還金（公債費）が将来的に分子を増加させるという径路と、投資資金（の一部）が税金で賅われた場合に、分母の経常一般財源を減少させるという径路です。</p>

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【森講師に対する質問】

質問内容	回答
<p>ダム建設が県財政に対し（大きな）影響較差を生じさせないことが良く分かりました。</p>	<p>ご理解いただき有難うございます。ただし、このことはダム建設の有効性を示している訳ではないという点も、合わせてご理解いただければ幸いです。</p>
<p>私は財政の面から、公債費という支出がある限り、新規事業は借金をしてまでやる必要があるのか。 まして、いわゆる箱物は費用対効果の面からも厳しく検証しなければいけない。なぜなら維持費が公債費を大きくするからです。と思いますが。</p>	<p>建設事業の実施の可否を決める際に、その費用対効果を慎重に検討すべきことはご指摘の通りだと思います。 ただ、効果が高いと判断された場合、建設事業ではその効果は将来にも及ぶものと考えられますので、将来の住民にも公債費の負担を求める公債（借金）で財源を賄うのは妥当性を持つと考えられます。 また、維持管理費については利用者負担や税金等の一般財源で賄うのが通常であると思います。</p>
<p>人口比で愛知、大阪の歳出を比べると、大阪がかなり多いと思いますがなぜでしょうか。</p>	<p>詳細な検討を行って見ないと確定的なことは言えませんが、大阪は愛知以上に中小事業者が多いため商工費が多いこと、生活保護費をはじめとする福祉的経費が嵩んでいること、公営企業等への負担金、分担金、補助金が多額に上っていること等が主な要因として考えられます。</p>
<p>愛知を大阪、神奈川に比較して土木費が多く、公債費がその結果多いと言われたが、そもそも都市基盤の整った大阪、神奈川と比較するのはおかしい。比較するならば、都市基盤整備率を関連分析した上で説明すべきだ。</p>	<p>適切なお指摘をいただき有難うございます。大阪はともかく、神奈川が愛知より都市基盤整備が進んでいるかどうかは調べてみないとわかりませんが、三大政令市を包含しているという点のみに着目して3府県の比較を行ったのは、やや安易であったと思います。 ただ、愛知県の公債費が高いのは、土木費が多いため（バカリ）ではなく、近年では臨財債の起債額が大きいためだと考えられます。</p>
<p>2010年度ベースでのシミュレーションでは設楽ダム事業費捻出は無理はないとの趣旨かと理解しました。 今後の人口減等の影響（県予測）を入れても結論に大差はないのでしょうか。</p>	<p>正確なシミュレーションを行うためには、人口減少によって、たとえば経常収支比率にどのような影響が及ぶかを検討しなければなりません。直感的には、今後30年程度の事業・県債償還期間の範囲では、ダム建設関連投資の実施によって急速に県財政が悪化することは無いのではないかと思います。 また形式的な言い方をすれば、県財政の急速な悪化が見込まれるとしても、それは人口減少のためであり、ダム建設のためではないと考えられます。</p>

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【森講師に対する質問】

質問内容	回答
<p>設楽ダム以外の要因で、たぶんあり得ること（高齢化など）でもっと経常収支比率が悪化する恐れはありませんか。その時耐えられますか。</p>	<p>高齢化の進行により経常収支比率が高まることは十分考えられます。それ自身はダム建設関連投資の所為ではありませんが、高齢化により経常収支比率が恒常的に100を大きく上回る状況が生じるならば、ダム建設投資は財政的に困難になることも考えられます。 ただ、これまでの経緯や愛知県の財政支出の構造から見て、高齢化の進行で経常収支比率が恒常的に100を大幅に上回る状況が生じる可能性はそれほど高くはないと思っています。</p>
<p>急速な高齢化社会になろうとしている時、医療、福祉予算を土木建設費が食ってしまうのではないか。</p>	<p>ひとつ前の質問に対する回答でお答えに代えさせていただきます。</p>
<p>3,000億と言われる莫大な予算の計画内容をチェックするには、専門的な知識と調査権を有する会計検査院の役割を果たすことが大事ではないか。（比較的大きなダムが1,700以上すでにあると言われるが、その費用対効果のまとめたものはあるのでしょうか。）</p>	<p>今回の講演の趣旨はダム建設関連投資が県財政に及ぼす影響の分析であり、ダム建設の費用対効果分析ではありませんので、そのような資料については調べていません。</p>
<p>地元にはダム計画が出てから40年近い年月が過ぎています。あまりに長い年月は地元にとって重荷になり、生活を押しつぶしていることを思うと、少なくともアメリカではサンセット条項（法）があり、ダム事業に適用していると言うが、そうした考えを取り入れるべきと思うが、どうでしょうか。（費用に入れて考える）</p>	<p>アメリカのサンセット条項については知識を持っていませんが、ご指摘の趣旨には賛成です。 ダムの有効性についての慎重な検討は必要ですが、メリットを受ける人とデメリットを受ける人が出るので、当事者同士の交渉だけではなかなかことは決まりません。 今回のようなセミナーを集中的に開催してオープンな議論をしていくことは回り道のように見えますが、早めに結論を出すためには良い方法だと考えます。</p>
<p>設楽ダムのような建設する必要性のないものを財政評価してもムダである。 尾張地域が愛知県の地域別財政収支構造が大きくなる理由が分からない。</p>	<p>今回の講演では、設楽ダムが有意義な事業であるとも、無駄な事業であるとも決めつけている訳ではありません。 ただ県財政への影響の面からその実行可能性を検討し、実効は可能であることを示したつもりです。尾張地域の財政収支規模が大きいのは、人口や産業活動の規模が大きいことが基本的要因です。</p>

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【森講師に対する質問】

質問内容	回答
<p><地域間財政再分配の構造について> 2010年データで整理されているが、過去のデータではどうなのでしょう か。万博、道路整備が尾張等では実施されてきており、そのような際、どう だったのか、分かれば教えてください。</p>	<p>ご指摘の通り、時期によって財政再分配構造は異なっている可能性はある と思います。 ただ、万博やリニモ建設のような大きな事業が東三河以外の地域で実施さ れた期間を除けば、愛知県の地域間財政再分配の構造は、今回示したもの と大きく変わらないのではないかと考えます。</p>
<p><地域間財政再分配の構造について> 年度の評価だけでなく、期間に幅をもった評価がよいのではと思います が。</p>	<p>ご指摘の通りですが、データの制約もあり、1年分の分析を行うのにも、 多大な労力と時間を要します。</p>
<p>「設楽ダムは愛知県の財政を大きく圧迫するものではない」との主 張とお聞きしましたが、前提となるダム建設費が当初予算どおりに推移する とは思われません。（他のダムもほとんどそうだった。例→八ツ場ダムな ど）2倍、3倍、時には10倍とふくれ上がる可能性もある。その時のシミュ レーションも示して頂きたいと思いました。「想定外だった」とならないよ うに。</p>	<p>ご指摘の趣旨はわかりますが、余り仮想的な状況を想定しても意味のある シミュレーションはできないと思います。</p>
<p>維持・管理費、また撤去費用を計上したお話も聞きたかった。</p>	<p>今回の講演の趣旨は、ダム関連投資が愛知県財政に及ぼす影響の検討と言 うことでしたし、維持管理費の費用配分がどうなるか決まっていなくて もあるようでしたので、確度の高い建設関連投資の効果に焦点を絞りました。</p>
<p>いわゆる「アベノミクス」で金利が上昇すると、地自体の公債費負担が増 えると言われています。その影響は。 こうした不確定（変動）要素は他にどんなものがあるでしょう。</p>	<p>ご指摘の金利変動の他、償還方式の変更、建設費用の変動、物価の変動等 多くの要因が考えられますが、これら不確実な要因を適当に設定してシミュ レーションを行うことは、可能であるとしても、意味がある結果を得られる か疑問ですので、今回の分析では現状を前提としました。</p>
<p>去年12月の自公政権誕生前までは、大きな民意の方向として公共事業叩き が活発化しており、大規模投資に対して否定的な論調が多かったと感じて いるが、上記民意に対する先生のお考えをお聞かせ下さい。</p>	<p>政権に対する評価の問題であるので回答は控えさせていただきます。</p>

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【森講師に対する質問】

質問内容	回答
<p>過去に建設されたダム投資の際の財政比較（国、県でどのような負担があったか等）について教えてください。</p>	<p>ダム建設関連投資の財政への影響について過去の検討をサーベイした上で今回の講演を行った訳ではありませんので、お答えするだけの資料を持ち合わせていません。</p>
<p>設楽ダム建設は今までの流れの中で、さほどに財政負担になるとは考えられず、ダム建設がプラスであるならば、今の人が決めるのではなく、将来の人のことも考えるべきであるとの主旨であったと考えますが、先の選挙においても1/4の支持率で自民党の「人からコンクリート」が支持されたとは考えられないとした時、国民の3/4は「コンクリートから人へ」の方針を変えることに疑問を考えているとして、急を要しない設楽ダムを建設とするならば、今決めるのではなく、将来の人が決めれば良いことで良いのでは。又は、受益者負担の原則を取り入れてはいかがでしょうか。そうしないと将来の人への負担となるのではないか。又県民全体で負担するべきではない。</p>	<p>将来にわたるダム建設の効果を考慮することは必要だと思いますが、建設の可否を決めるのは「今の人々」にならざるを得ないと思います。 また、建設事業のようにその効果が長期間にわたって発生する事業の場合には、建設を決めたときの人々のみが負担を負うことは、必ずしも受益者負担にはならないと考えます。</p>
<p>利用時支払の原則の説明に、将来の子達に設備効果を与えるものだから、公債（借金）負担をしてもらうことは問題ないと言われました。 しかし、このダムが本当に役に立つものであれば、それは良いのですが、現在の設楽ダムは造るよりも、今のまま無い方が良いというダムで、ダムを造ることの効果は認められないものです。現在の状況を環境面で悪くし、その上将来負担を発生させるものだと思います。この点はどうでしょうか。</p>	<p>今回の講演では、設楽ダムの有効性について検討を行った訳ではありませんので、回答は控えさせていただきます。</p>
<p>愛知県の公債費が大阪、神奈川より大きいのは鈴木知事時代の3点セット+1財政の後遺症である。そのことが民生等を圧迫してこなかったのかの分析が必要ではないか。</p>	<p>ご指摘の点が正しいかどうかは、検討してみなければわかりませんが、少なくとも最近10年程度について言えば、公債費が多額に上っているのは、臨財債の大量発行によるところが大きいと思います。 臨財債は一般財源で民生費にも充てられますので、最近ではむしろ民生費等の経常経費の増大が公債費を増加させ、投資的経費を圧迫しているとも言えるかもしれません。</p>

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【森講師に対する質問】

質問内容	回答
<p>臨財債を経常一般財源と同質のものとして扱ってよいのか。臨財債を発行せざるを得ないこと自体が県財政の失敗ではないのか。</p>	<p>少なくとも平成21年度までは臨財債は、自治体の財政運営に係わりなく、人口に応じて発行枠が配分されていたので、財政運営に失敗した結果、臨財債を発行せざるを得なくなったという訳ではありません。 ただ、財政状況がそれほど悪くない年度にも、枠があるので臨財債を多額に発行し行政サービスの水準の維持向上をめざしたのは、財政の、と言うより政治の失敗かもしれません。</p>
<p>財政的には何とかなるかと思いますが、三河湾の魚介類へのダメージが大きくなる点でダム建設への反対の論点（軸足）とすべきだと思います。（質問にはなりません、よろしく）</p>	<p>設楽ダム建設が三河湾の生態系に及ぼす効果については検討しておりませんので、回答は控えさせていただきます。</p>
<p>県民1人当たりの歳出額が尾張地方では低く、東三河地方で高いというお話がありました。これは都市部で低く、過疎部で高いという結果であると思います。他の都道府県や国全体で見た時には愛知県内の差ほどの程度なのでしょうか。</p>	<p>残念ながら他の都道府県について今回と同様な分析は行っておりませんので、回答は致しかねます。</p>
<p>設楽ダム本体建設事業費2,070億円の愛知県負担分が721億円なのはどうか。私の計算では797億円（農業用水受益者収納金を除いても773.6億円）。</p>	<p>愛知県より提供いただいた資料の数値を用いましたので、お答え致しかねます。</p>
<p>ダム本体建設事業費が東三河再分配になる理由は何か。</p>	<p>敢えて愛知県を地域分割すれば、設楽ダム建設関連投資は、東三河地域での支出になるからです。</p>

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【伊藤講師に対する質問】

質問内容	回答
<p>費用負担及び負担割合に関するお話は何えました。ダム費用が現状算出されているものより、もっと多くの費用がかかるということでしたが、事業効果についても、考慮されていない要因等があるかと思います。「事業効果」について教えてください。</p> <p>さらに、ダム投資のB/Cについて、国交省ではどのような検討がされているかや、先生のお考えを教えてください。</p>	
<p>国土強靱化に対する先生のお考えをお聞かせ下さい。</p>	
<p>費用と便益、受益と負担の関係がよくわかりました。 愛知県が「水道水は要らない」と言ってくれば、設楽ダムは止まるのではないのでしょうか？</p>	
<p>資料配付がないのは、受講者に対して大変失礼だ。</p>	
<p>設楽ダムを中止するにはどのように進めればいいですか。</p>	
<p>講演の中で、最後の方で環境コストの分が時間が無く、省かれましたが、この件に関しては先生からの講演又は説明資料等あったのでしょうか。</p>	
<p>環境費用まで含むCost&Benefitを実行する省庁はどんなイメージか。</p>	
<p>水源地域対策コストは、造ろうが造らまいが地域の発展のためにいずれは必要なコストではないのか。</p>	

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【伊藤講師に対する質問】

質問内容	回答
<p>日本の海岸侵食の原因を何故ダムのせいにしたのか。根拠を示せ。根拠もなく言ったのなら撤回せよ。</p> <p>日本の海岸侵食は、港湾の防波堤建設等による沿岸漂砂の流れの阻止、海砂利採取、川砂利採取、海岸崖の侵食防止、港の航路浚渫、そして2013年1月21日中日新聞「内陸の森林環境と海岸の関係」にもあるように森林が増えたことも含む河川からの土砂供給の減少が複合的に絡んで発生しているというが、現在の海岸工学の見解ではないか。</p>	
<p>既得の水利権者が豊川に水を戻せと言うのなら、名古屋市水道7トン/秒も何ら水源手当していないのだから、木曾川に返すべきでは？</p> <p>また、あなたは豊川で水を返すべき人と話し合ったことがあるのか。見込みはあるのか。</p>	
<p>借金1,000兆と言うが、国民の預金が1,500兆円あることを知っているか。 (H23国交省白書) 日本は今金がまわっていない。</p>	
<p>そもそも事前に資料をアップするという約束なのに、なぜ伊藤氏はアップしないのか。アレンジをした小島委員も責任を取るべき。県民をバカにした講師は、県がやっている長良川河口堰の利水チームからも解任すべきではないか。小島委員、伊藤氏の責任の取り方について、どうするおつもりかお二人の考えを伺う。</p>	
<p>昨年の世界銀行の国際会議で「防災は割に合う」「1ドルの投資で7ドルの効果」と言われたことを知っているか。</p> <p>愛知県もH12.9に東海豪雨で新川・庄内川が6,700億円の被害を受けたが、その後投資した対策費710億円をもし事前に投資していれば、被害は1,200億円で済んだことを知っているか。</p>	

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【伊藤講師に対する質問】

質問内容	回答
<p>京大の藤井聡教授（現在の内閣府参与）の著書（救国のレジリエンス）によれば、民主党政権下で使っていた経済マクロモデル（内閣府モデル）はおかしなモデルであり（p163）、マクロ経済シミュレーターDEMOS（マクロ分析モデルの第一人者である宍戸駿太郎先生による）を使って250兆円の公共投資を行った場合、10年後にGDPが約900兆円になることを知っているか。</p>	
<p>愛知県政策指針2010～2015プロジェクトマップによれば、設楽ダムは約750のプロジェクトのうちの一つである。東三河＋三河山間で170プロジェクト、その他の尾張＋西三河で580のプロジェクトがあげられている。なぜ愛知県の財政を論じる時に設楽ダムのみとりあげるのはおかしいのでは。</p>	
<p>大変明確で分かりやすい説明、公共工事の取り組みへの疑問を整理していただき、ありがとうございました。 実際に、水資源政策で、今回の解釈、分析に基づく「検討」が機能している事例、エリア（公共工事）はあるのでしょうか。 県民のみでなく、国として考える重要性を感じています。</p>	
<p>ダムを中止した場合の法が欠けているとの指摘があるが、民主党の案がある（あった）と言われるが見れないか？ 今後もダムを次々に造られ続けるのを考え直すためには、中止の時の地元への振興対策等をそれなりのものをまとめていかなければ、いい方向に行けないのではないのでしょうか。</p>	
<p>ダム計画が出てから40年近い年月が経っている。この年月を費用に入らないのか？ダムの検証に対して、会計検査院は機能しているのか？アメリカのサンセット法を日本も取り入れるべきでは？</p>	

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【伊藤講師に対する質問】

質問内容	回答
<p>堆砂でダムが埋まるスピードは予想よりかなり早いと言う。すでにあるダム（1,700以上と言われるが）の堆砂を適切に処理することができずに、最大の産業廃棄物になるとの指摘もある。堆砂の問題が見通せないまま、GOサインは不合理では？</p>	
<p>40年以上経っても未だ着工できないのは、それほどに問題が次々と現れてくるからと思う。でもあきらめない。もうこれは造ることが目的化しているからと判断しますが？</p> <p>国税や県税が使われる限り、地域外のお前は関係ないとは言わせない。広く自然全体に与える影響を前面に出して検証すべきと考えますが？</p>	
<p>特にありませんが、資料が無い中で、お話を理解するのは難しかったです。</p> <p>利水、治水、かんがい、その他水のすべてを考慮して、費用分析した方が良いのかも。</p> <p>ダムは水を止めて造るものですが、集水域の降水等の余剰水（短時間に多量に降った）も貯められる（送水調整していなくても）ことによっても、一旦は貯められること、一度に（短期間に）すべて排水することはあまりないことも説明に必要だったのではと思いました。</p>	
<p><設楽町の年間雨量について></p> <p>口頭説明で1,500mm/年と言われたが、1,800~2,000mm/年はあるのではないかと。確実に調べられた数値か。</p>	

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【伊藤講師に対する質問】

質問内容	回答
<p><設楽ダム为建设コストが高いことについて> 牧尾ダムなど先発のダムは水資源開発が大きくでき、後発のダムは河川水を利用する分が少なくなり、水資源開発量が少なくなると考える。 また、ダム適地も良い所から開発されてきているため、後発のダムは費用が高くなるのではないのか。 そうした説明もせずに、他のダムに比べ異常に高いと批判するのは適切ではなく、近年のダムと比較したりして論ずべきと考える。</p>	
<p><コスト負担者について> 国の行う施策、県の役割、市町村の仕事として実施されており、地域別に負担を考えること自体ナンセンスではないか。 これまでも国の事業は各地で実施され、皆で負担してきている。県は県内の整備を拠点的に実施し、県内の水準（レベル）の公平さを保っているのではないか。</p>	
<p><環境コスト> 流域圏の持続可能社会を構築という観点から、健全な水循環、生態系ネットワーク回復、形成のために、ダムなどの開発と、自然環境の修復、改善との調整するために、流域圏の地域自然資源の活用、利用のための総合的管理をすべきではないでしょう。</p>	
<p>かんがい費用のうち利用者は10%を負担することになっている。それお県が立て替えて支払、後から利用者から徴収するはずなのに、県は利用者から取り立てないようである。これを先生はどう思ってお聞かせ願いたい。</p>	
<p>環境の金額化（B/Cの計算用）は実施には無理と思います。何か方法があるのでしょいか。</p>	

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【伊藤講師に対する質問】

質問内容	回答
<p>原因者負担論は総論としては単純で分かりやすいですが、どこまで原因者を遡るのかでまとまりそうにない。（例：明治以降の開発者全員で払う？）と思いますが、事例集があれば教えて下さい。</p>	
<p>水特事業の負担について、ダム事業に関わりなく設楽町が行わなくてはいけないものであり、町費の8割分の県下流の負担はありがたいが、ダム事業の負担額に入れるのはおかしい部分が多い。</p>	
<p>ダムにおける維持管理費用とは一般的にどのようなものなのでしょうか。</p>	
<p>設楽ダムについては活断層による耐震性が危惧されています。東日本大震災を受けて、地震対策は現在の建設費に含まれているのでしょうか。含まれていないとすれば、どれくらいコストが上昇する可能性があるのでしょうか。</p>	

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【講師お二人に対する質問】

質問内容	森講師の回答	伊藤講師の回答
<p>設楽ダムは必要だと思いますか。 必要なら何のためですか。</p>	<p>—</p>	
<p>水が必要なのはどこで、何に使うためだと思いますか。</p>	<p>—</p>	
<p>設楽ダムの費用の中に、100年経った後の取り壊す費用が含まれていなかったが、これも含めるべきではないですか。</p>	<p>—</p>	
<p>かんがい（農業用水）の利用者負担分の23.4億円は、負担金徴収条例がないので、愛知県が負担したままで終わるのではないか。721億円の愛知県負担分に含まれている。</p> <p>545.6億円（河川管理+かんがい）+152億円（水道）+23.4億円（かんがい利用者負担分）=721億円</p>	<p>—</p>	

第4回とよがわ流域県民セミナー 質問シートについて

【その他の質問】

質問内容	回答
<p>B/Cにおいてダム建設による費用の内、水源地域対策費をC_0は全額ではなくて、水源地対策のB_0は別途あるので、「$C_0 - B_0$」をコストに加えるべき。</p>	<p>—</p>
<p>環境用水専用のダムはドイツにある。(名前は忘れました。) ダムの環境用水補給は大事。それは自然の湧水ならストレス論が良いが、人間がつくった湧水でもあるのだから。 昔はもっと川が太かったものだ。普段の水も大事です。</p>	<p>—</p>
<p>ダム関連はインシヤルコストも大きい、ランニングコストの負担も大きい。その部分は含まれていないように思われるが、その点どうお考えか。</p>	<p>ランニングコストの負担がどれほどで誰の負担になるのか明らかではないので、今回の分析からは除きました。(森徹)</p>